

Vol.207



かけはし

理念

すべては患者様と  
地域社会のために

病院ホームページは

<http://www.mhi.co.jp/kobe/hospital/>

発行責任者 病院長 松本 健

## においがわからなくなったら（嗅覚障害になったら）

嗅覚は、食事をおいしく味わったり、好きな香りを楽しんだり、有害なガスや火災などの危険を感知したり、私たちにとってとても大切な感覚です。

このような日常生活にかかせない嗅覚がわかりにくくなった状態を嗅覚障害といいます。

においは、空気中のにおい分子が鼻の奥にある嗅細胞を刺激し、嗅神経から脳の嗅覚中枢に伝わることで感じることができます。（図1）

耳鼻咽喉科部長

石黒 佳代子

### 【嗅覚障害の分類と原因】（表1）

嗅覚障害は障害部位により、3つに分けられます。

**気導性嗅覚障害**は、におい分子が嗅細胞に到達できないために生じます。原因としては、副鼻腔炎が最も多く、特に、最近では鼻茸、嗅覚障害、気管支喘息を合併した**好酸球性副鼻腔炎**が増加しています。

**嗅神経性嗅覚障害**は、嗅細胞が傷害を受けて嗅覚が低下した状態です。強い脳震盪のような頭部外傷によって嗅神経が傷害を受ける**外傷性嗅覚障害**、風邪のウイルス感染後に生じる**感冒後嗅覚障害**、薬物（抗がん剤など）や有害物質（ガソリン、タバコなど）による**薬剤性・中毒性嗅覚障害**があります。

**中枢性嗅覚障害**は、頭蓋内の嗅覚路の障害により生じる嗅覚障害です。**アルツハイマー型認知症**や**パーキンソン病**などの神経変性疾患では早期に嗅覚障害が出現します。検知（何らかのにおいがする）ができて認知（何のにおいかわからない）ができないことが特徴で、嗅覚障害からこれら変性疾患の早期診断につながる可能性があります。

### 【嗅覚障害の治療】

嗅覚障害の原因として最も多い副鼻腔炎では、まず、内服薬、点鼻液などで治療が行われます。改善がみられない場合には、手術が必要となることもあります。感冒後、外傷後嗅覚障害はなかなか治らない場合が多く、新しい治療法として、**嗅覚刺激療法**という嗅覚を回復させるためのトレーニングが注目されています。どうせにおわないからとあきらめず、食べ物、花、石鹸など何でもいいので、毎日、意識してにおいをかぐようにしてみましょう。

### 【新型コロナウイルス感染症と嗅覚・味覚障害】

最近、新型コロナウイルス感染症の初期症状として嗅覚障害が注目されています。従来の感冒後嗅覚障害と比べて、どう違うのでしょうか。感冒後嗅覚障害は初期に鼻づまり、鼻水などの鼻炎症状がみられるのに対して、新型コロナウイルス感染症では、鼻炎症状、特に鼻づまりがないのに、ある日、突然、重度の嗅覚障害が生じることが多いようです。

また、感冒後嗅覚障害は中高年の女性に多く、回復には時間がかかり、完全回復は3割程と言われています。一方、新型コロナウイルス感染症は、若い人に多く、早期に回復する人が多いと報告されています。

今年の冬はインフルエンザの流行も予想されています。インフルエンザは鼻水、のどの痛み、発熱などの症状で発症し、嗅覚障害で発症することはほとんどありません。

突然に嗅覚障害・味覚障害に気づいたら、新型コロナウイルスに感染した可能性を考え、感染対策をとっていただき、お近くの新型コロナウイルスに係る相談窓口等にご相談ください。

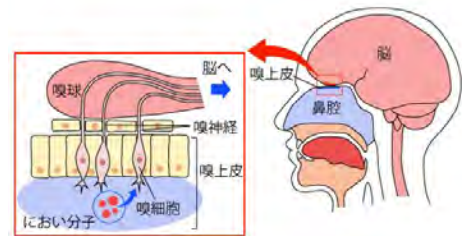


図1) 嗅覚伝導路（恩賜財団済生会HPから引用）

表1) 嗅覚障害の分類と原因

分類	原因疾患
気導性嗅覚障害	・慢性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎 ・アレルギー性鼻炎
嗅神経性嗅覚障害	・感冒後嗅覚障害 ・外傷性嗅覚障害 ・薬剤性・中毒性嗅覚障害
中枢性嗅覚障害	・脳挫傷、脳腫瘍、脳血管障害 ・神経変性疾患、 アルツハイマー型認知症、パーキンソン病

慢性副鼻腔炎が最も多く、次いで感冒後、外傷後の順となります。

お問い合わせ先

耳鼻咽喉科受付：078-672-2632（外線）  
8-63-2632（内線）

### 医師退職のお知らせ

米原 昇吾医師（内科）は2020年9月30日付で退職いたしました。